

# 診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 34 号／令和 6 年 12 月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

「中小企業診断士の日」～ 中小企業の振興へ ～

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲



1948 年（昭和 23 年）11 月 4 日、中小企業庁により「中小企業診断実施基本要領」が制定され、「中小企業診断制度」が創設されました。平成 28 年には 11 月 4 日が「中小企業診断士の日」と定められ、毎年この日の前後 1 週間程度の期間において、全国の都道府県協会ではセミナーや講演会、相談会などのイベントを開催しています。その目的は、中小企業診断士制度の普及と推進、中小企業診断士のブランディングです。

11 月 8 日、新潟県中小企業診断士協会は、中小企業診断士の日のイベントとして「中小企業経営シンポジウム in 新潟」を開催しました。シンポジウムの詳細については後のページに譲りますが、当日は定員を超えて多くの方にご参加いただきました。感謝申し上げます。シンポジウムの開催は、前述の中小企業診断士制度の普及と推進、中小企業診断士のブランディングに加えて、「官公庁その他関係団体及び諸機関との連携強化」という当協会の事業方針に沿って関係機関との連携を強化し、中小企業の振興に貢献することも目的としています。

さて、全国の都道府県協会の連合会本部である一般社団法人中小企業診断協会は、10 月 1 日、中小企業診断士という専門家の団体の連合会組織である旨を内外にわかりやすく伝えることを目的に、「一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会」に名称を変更しました。「士」という文字が加わったことで、中小企業診断士の士業としての役割が拡大したと考えています。

戦後復興から令和の時代へ。中小企業は経営環境の急速かつ大きな変化から、事業承継やDXの推進、カーボンニュートラルへの対応などが求められています。これにともない我々中小企業診断士に求められる社会ニーズも大きく変化しています。そのニーズに応え、中小企業の振興に貢献するためにはスキルとマインドを磨き続けていくことが必要です。

中小企業診断制度が創設されてから今年で 76 年。同制度は、我が国の中小企業の振興に多大な貢献を果たしてきました。その歴史と役割の重要性を改めて胸に刻むとともに、これからも当協会は、中小企業診断士制度の普及と推進、会員診断士の資質の向上などに取り組むことで中小企業の振興に貢献してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

## 協会活動報告

### 令和6年度中小企業経営シンポジウム in 新潟

専務理事 平野康晴

11月4日は、中小企業診断士の日です。これは、昭和23年11月4日に「中小企業診断制度」が発足したことに由来し、一般社団法人日本中小企業診断士協会連合会（略称：日診連）がこの日を中小企業診断士の日として制定したものです。毎年11月4日の前後に、各都道府県協会は各々、関連イベントを開催しています。中小企業診断士の活躍の場を拡充し、企業経営者や関係機関などに対して中小企業診断士や中小企業診断制度の理解を深めることが目的です。

当協会では、令和6年11月8日（金）、朱鷺メッセにて、「中小企業経営シンポジウム in 新潟」と題して、盛大に中小企業診断士の日イベントを開催しました。イベントは2部構成となっており、第1部は企業経営者による基調講演、第2部は3の分科会に別れて、当協会会員3名（刈谷会員、阿部会員、楠会員）が日頃の支援事例やノウハウについてプレゼンテーションをするという形態です。参加者は、中小企業経営者、支援機関、当協会会員などが対象で、本年は109名の方々からご参加いただきました。



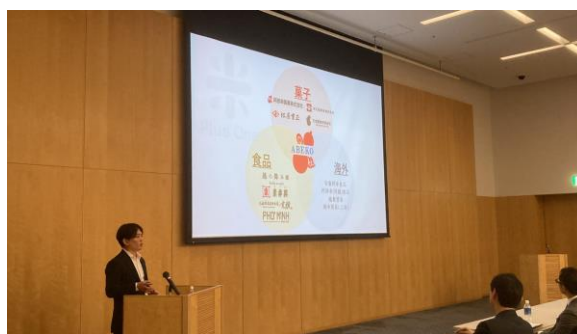
本イベントのチラシ

基調講演の講師は、阿部幸製菓株式会社 代表取締役社長の阿部幸明氏。『「現状維持＝衰退」～継承とグループ経営を目指して～』という演題で、ご講演いただきました。

先々代の時代はポテトチップスの製造も手掛けていたが、その後は米菓一本に専念。業務用柿の

種のナンバーワンシェアを獲得するまでに至った話から講演はスタートしました。そして、90年代から始まる海外進出、飲食事業への進出、既存事業とのシナジー効果を狙ったM&Aの推進。自社ブランド製品「柿の種のオイル漬け」の開発秘話と大ヒットなど、濃厚濃密な話がめくるめく展開で進んでいきました。最後はこれからのビジョンについて熱く・力強く語っていただき、講演は締めくくられました。

阿部社長の人柄や経営姿勢、ビジョンに感銘を受けた方が多く、講演後には多くの参加者から絶賛の声が届きました。素晴らしいご講演をいただいた阿部社長には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



講演する阿部社長

本イベントは参加者満足度が高く、年々各方面からの期待値が高まっております。来年度はさらにグレードアップさせ、進化させていきたいと思えます。



令和6年11月13日 新潟日報 9面

シンポジウム終了後は、朱鷺メッセのお隣、ホテル日航新潟の「孔雀」にて懇親会を執り行いました。参加者数は35名。当協会では初めての試みである立食スタイルでのパーティーでした。会場内を自由に移動しながら多くの人と交流を図れる点が好評で、参加者同士の心の距離がギュッと縮まって、コミュニケーションが深まり、極めて有意義な時間となりました。

ホテル日航新潟様のハイクオリティな料理・お酒、ホスピタリティも手伝って、大盛会となりました。



懇親会の様子

### 分科会講師報告 刈谷力

私は、『製造業・運輸業等の価格改定による収益改善 ～外部環境変化等への対応～ 3つのカベと4つのステップ』を話させていただきました。

昨今、原材料費やエネルギーコスト等が高騰しています。また、従業員の労務費は上昇しています。更に物流の2024年問題により配送コストも上昇しています。

一方、コスト上昇分の価格転嫁が追いついておらず企業の収益が悪化しています。2024年度上期は、10年ぶりに企業の倒産件数が5,000件を超えました。これは物価高の影響が大きいと考えられています。

今回、価格改定の3つのカベ（顧客・競合・自社）に対し、4つのステップを踏むことをお話しました。お渡しした「お役立ちツール」をご活用いただき、中小企業の収益改善につながると幸いです。この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。

### 分科会講師報告 阿部哲也

「経営改善支援について-中小企業診断士として大切にしたい視点-」と題してお話をさせていただきました。経営改善を進めていくプロセスでは事業経営者、社員や株主、取引先、金融機関、その他支援機関等に加えて我々のような支援専門家が関与します。多くの利害関係者にとって経営改善の共通のゴールは事業者の利益(CF)改善ですが、それぞれの立場によって視点（関心事や思惑）は異なると思います。

本セミナーでは経営改善の各フェーズに沿って、それぞれの利害関係者の視点の整理を試みました。利益改善という結果を創出することを主眼に置き、計画策定がスタートであるとするれば、各自の視点を慮ることは非常に大切であると思います。

事業者の経営支援に取り組むことは多くの利害関係者の幸福に繋がり、地域社会・経済の発展に貢献できる。今回講師を務めたことであらためてその思いを強くしました。この度は貴重な機会を頂きありがとうございました。

### 分科会講師報告 楠正久

「商品開発とオンライン/オフラインのプロモーション」というテーマで講演させていただきました。参加者の皆さまが商品開発・プロモーションにおける実務的な知識を深められるよう、具体的な事例をもとにお話しさせていただきました。

商品開発の管理手法としてステージゲートアプローチについてお話させていただきました。この手法を活用することで、リスクを軽減しつつ効果的な開発を進めることができます。また、データ分析の重要性についても触れ、どのようにデータを分析すれば良いか具体的な方法を紹介しました。

さらに、実際に手掛けた商品開発プロジェクトの例を取り上げ、どのように開発・プロモーションを行ったのかについても詳しくお話ししました。

参加者から「実際の事例を交えた内容で非常に参考になった」との声をいただきました。素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。

## 理論政策更新研修・新潟会場 実施報告

研修委員会 小山直久



8月24日（土）に、第1回中小企業診断士理論政策更新研修（新潟会場）が開催され、「中小企業の事業再構築支援」をテーマとして156名が受講しました。

中小企業が直面する人口急減・超高齢化という大きな課題に対して、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を推進する「地方創生」の重要性が高まっています。研修では新潟県産業の現状、事業軸をシフトさせ経営機能の価値連鎖で新たな付加価値を生み出すという貴重な成功事例を知ることができ貴重な機会を得ました。

実際に企業戦略を再構築された経営者の講義では、経営理念に立ち返り、地域社会課題に対して、地域リソースで経済価値と社会価値の両輪を回すソーシャルビジネスへの展開で解決するという視野の広いしかけづくりのプロセスと体験談が、私たちに新たな気づきや学びを与えてくれました。

研修では、各方面の第1線で活躍される3名の講師から、下記テーマで講義していただきました。

- 「新潟県の産業の現状とにいがた産業創造機構の支援について」  
（講師）斎藤 信義 氏  
公益財団法人にいがた産業創造機構  
企画・総務グループ 総括マネージャー
- 「新潟の共生社会づくり」  
（講師）肥田野 正明 氏  
株式会社バウハウス 代表取締役
- 「時代を見据えた組織改革とコーポレートベンチャー～旧体質の脱却と企業内ベンチャー～」  
（講師）渡邊 安之 氏  
株式会社花安 代表取締役社長

## 理論政策更新研修・長岡会場 実施報告

研修委員会 上村修



令和6年9月7日（土）に、第2回中小企業診断士理論政策更新研修（長岡会場）が開催され、82名が受講しました。

今回は「中小企業の事業再構築支援」をテーマとして研修が進められました。

中小企業の経営環境は、仕入価格の高騰、人件費の上昇と人手不足、人口減少によるマーケットの縮小など様々な逆風が吹き、厳しい状況に置かれています。

このような状況で「事業再構築」への取組みは、窮境打破の重要な選択肢といえます。

中小企業診断士が事業再構築支援に取り組む際に必要とされる知識やノウハウ、経験談について、各方面の第1線で活躍される3名の講師から、下記テーマで講義を行っていただきました。

- 「中小企業の組合等による連携の取り組みと中央会の支援業務」  
（講師）松山 哲弥 氏 中小企業診断士  
新潟県中小企業団体中央会 経営支援課 課長
- 「経営改善を含んだ事業再構築（経営の抜本的立て直し）の進め方」  
（講師）高澤 彰 氏 中小企業診断士  
（有）タカザワ企画 代表取締役
- 「中小企業へのSDGs経営導入プログラム」  
（講師）川嶋 正己 氏 中小企業診断士  
（同）プラスアルファ・ラボラトリー 代表

## 新入会員紹介

### 楠正久



昨年末に入会させていただきました、楠 正久と申します。現在、プロコンとして独立し、未熟ながらも中小企業支援に取り組んでおります。

専門領域は、消費財の売上拡大全般です。販路拡大や商品開発、ブランディングなどを得意としています。また、ホームページやSNSなど、WEBの利活用支援も多く携わっています。消費財業界において、企画開発という川上から販売という川下までの経験があり、オフラインとオンライン双方に通じていることが私の強みです。

私は生まれも育ちも新潟市の古町の生粋の新潟っ子です。高校卒業後、東京の大学に進学しましたが、いつかは新潟に帰りたいと考えていました。そのため、新卒で県内の家庭雑貨メーカーに就職しました。配属された東京支店で量販店や卸への営業を経験し、その後、新潟本社の商品企画部門に異動。商品企画開発業務やブランドマネージャーとして業務にあたっていました。

営業部では、売場提案に加え、担当していた量販店ではカテゴリリーダーとして販売店のPOS分析を任せられ、売場改善や品揃え改善に取り組みました。企画部では、商品開発だけでなく、パッケージや販促キャンペーンの企画、POPなどの販促物の企画、国内外展示会への出展、国内外の工場との調整など、幅広い業務を経験しました。

その後、家庭の事情で退職し、子育てをしながらWEB企画開発としてWEBサイトの企画制作や予約システムの導入に取り組んでいました。そうした中で、経営知識の必要性を痛感し、中小企業診断士を志しました。昨年11月に中小企業診断士の資格を取得し、現在は新潟県よろず支援拠点のコーディネーターとして、中小企業支援に携わっております。これからも中小企業診断士として、微力ながら新潟を元気にし、中小企業の皆様を全力で応援していきたいと考えています。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

### 2024年11月16日（土） “プロコン塾” 開催

#### 研修委員会副委員長 島田達人

2024年度の研修委員会の新たな事業であるプロコン塾を11月16日（土）に万代市民会館で開催いたしました。当日は株式会社ビックバン代表取締役の山下益明（やましたますあき）様を講師にお招きし、14名の会員が受講いたしました。「プロコンとして自立し、活躍するために」というテーマでの山下講師による講義とそれを踏まえたグループワーク、ディスカッションを繰り返す形で塾は進行しました。『お客様のお役立ち度としての売上を高めることを“ド”真剣に考える』『宿題提出力』『営業構造構築力』『成功型 GIVER（利他）』『潜在意識への働きかけ』等々、これまでの先入観が揺さぶられる多くのご助言・ご指摘があり、とても内容の濃い半日でした。夕方からは古町に場所を移して懇親会を開催、山下講師にも引き続きご参加いただきました。こちらでも熱い議論を重ねることができたと思います。今回の研修は、独立診断士だけでなく、独立予定診断士と独立は将来の選択肢の一つというそれぞれの立場の会員にご参加いただきました。立場は違ってもそれぞれ得るものがあつたのではないかと思います。参加者から寄せられたアンケートでは「満足度」並びに「自分の仕事との関係において有意義だった」への回答が100%となりました。初めての運営で行き届かない点もあつたかとは存じますが、まずは参加された皆様にご満足いただけたようで、ホッとしております。なお、山下講師から今後につながるサプライズのご提案もあり、今回を機に会員の研鑽の機会が様々な形で発展していくことが期待されます。引き続き宜しくお願いいたします。



## 渡辺裕美子



初めまして、渡辺裕美子と申します。2021年に診断士登録をし、東京の公的機関等で支援活動を行ってきましたが、故郷の佐渡島で2拠点生活をするにあたり新潟県協会に入会しました。

佐渡島は世界遺産登録で活気づいており、事業者様の身近な相談相手として活動していきたいと思っています。

信用調査会社で営業10年、企画3年、コンサルティング業務に11年従事していました。独立してからの3年半は、創業支援やセミナー講師、伴走支援、事業再生などに携わってきました。お客様の目線・従業員の目線・経営者の視点を大切に、地域を支える事業者様をご支援していきます。

前職では、財務分析等を通じ資金繰り改善や事業計画策定などの支援を行っていました。ハード面の課題と対峙することが多かったのですが、これからはサービス・ホスピタリティ分野で、ソフト面の工夫や改善を通じ顧客満足や従業員満足の向上を図り収益性改善のお手伝いをしていきたいと考えています。

温泉と旅行が好きで、海外は111カ国訪問しています。世界の果ての地で日本製の家電や日本食のお店に出会うと、日本製品の素晴らしさを海外の人が高く評価しているのを感じます。佐渡でもインバウンドの観光客が増えており、日本人が当たり前だと考えているサービスや思いやりの心が感動体験につながっていると思います。地域が持つ魅力や事業者様の活動を多くの人に知ってもらえるよう、中小企業診断士として地域の発展に貢献していきます。

能登半島地震の後は、現地で瓦礫の撤去や農作業の手伝い、事業者様の再建計画作りなどの支援を行っています。能登と佐渡は地域性が似ており、地域を支えてくれている事業者様の役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

## 刈谷力



このたび入会させていただきました、刈谷力（かりやちから）と申します。新潟市西区寺尾出身です。昭和38年に生まれ、新潟明訓高校―新潟予備校まで新潟で過ごしました。大学（資源工学科）卒業後、大陽日酸（当時、日本酸素）に入社し、品質管理（4年）、営業（19年）、購買・輸出入（14年）に携わり、現在も勤務中です。

横浜の2LDK賃貸マンションで、妻・娘2人と暮らしています。

診断士4年目です。東京都協会（城南支部）・神奈川県協会にも入会しています。父が白根の老人ホームにお世話になり、寺尾の実家の手入れと池のコイ（2匹）のエサやり等があり、新潟生活が増えています。会社勤めが残り1年少しとなったこともあり、今後は新潟に軸をおいて活動したく考えております。

趣味はスキー（社会人）、バドミントン（中学・大学）、吹奏楽（中学・高校、チューバ担当）、写真（高校）です。バドミントンは早めに試合で負け、敗者審判を多く経験しました（先輩の分も）。そのおかげで日本リーグの仙台大会で副審を経験できました。

好きな食べ物は、『新!!音威子府（おといねっぷ）そば』です。北海道の音威子府村のそば粉を使い、日本一黒く、独特の風味があります。2022年に製麺所が、ご主人のご高齢化により閉鎖した後、音威子府村出身で千葉県茂原市の「音威子府食堂」のご主人が復活させたおそばです。

好きな言葉は『知好楽（ちこうらく）』、座右の銘は『後悔先にたたず』です。

今後は、①価格改定（値上げ）による収益改善支援、②事業承継支援、③事業計画策定支援による補助金申請支援、等を通じ、中小企業の皆さんの想いに寄り添った伴走支援に努めたいと考えております。ご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。

## 若井亮太



若井亮太と申します。2024年1月に診断士試験に合格し、直後の2-3月の実務補習を終了し、5月に入会いたしました。出身は新潟市です。大学に入学して以降30年近く県外で過ごしてきましたが、2021年11月にUターンで新潟市に戻ってきました。現在は、公的機関で中小企業の経営改善・再生支援に取り組んでいます。

前職は建設系のコンサルタントに勤めておりました。主には、公的機関や民間企業から受託した交通調査の設計・分析、将来の交通量の推計、道路計画や公共交通計画の策定、観光地や都市部での新たなモビリティの導入の検討、まちづくりといった地域振興に関わる仕事に携わってきました。Uターンに際しても、新潟でも同様に地域の活性化につながる仕事をしたいと考え、現在に至っています。

中小企業診断士を目指した理由は、中小企業支援に関する各種知識を身につけ現職で役立てたかったということもありますが、どちらかというところではより直接的に中小企業を支援する仕事をしてきたいと考えているからです。現状、まだまだ様々な経験や知識が必要と感じています。そのため、今後、協会の活動にも参加させていただきながら様々な経験や勉強をしたり、診断士の皆様との交流を通じて様々な情報交換をさせていただきたいと考えております。そして、徐々に、新潟県の企業振興、地域活性化に貢献していければと考えています。色々な場面でお会いすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 平野洋人



皆様、初めまして。平野洋人（ひらのようと）と申します。このたび、新潟県中小企業診断士協会に入会させていただきました。よろしくお願い致します。

出身は新潟市西区で、現在は三条市に居住しています。

職歴は、県外の大学を卒業後、新卒で銀行に入学し、公務員として行政職を経験しました。その後、税理士法人や事業承継・M&A事業会社の組織立ち上げに参画し、2022年に独立・開業しました。現在は、中小企業診断士をはじめ、他士業の資格を活かし、総合事務所として活動しております。

趣味は、サッカーJリーグ「アルビレックス新潟」の応援です。私は幼い頃からサッカーをしていた関係もあり、近年では「アルビレックス新潟」や「清水エスパルス」のサッカースタイルに魅了され、歓喜しています。特に、家族全員、熱狂的な「アルビサポ」であることから、ホームゲームではビッグスワンに出向き、アウェーゲームでは某スポーツ配信サービスを視聴し、一喜一憂するのが週末の恒例行事となっています。

私の専門分野は、「事業承継・M&A」です。中小企業の後継者問題は緊急かつ総合的に解決していかなければならない、「社会的課題」であります。

私の強みは、これまで培ってきた「事業承継・M&A」の経験に加え、豊富かつ多様な人脈にあるものと認識しています。この「社会的課題」は、一人で解決できるものではありません。金融機関や行政機関、私たち専門家が地域一体となって協働する中、中小企業の新陳代謝を促していかなければ、解決に繋がらないものと考えます。

今後は、当協会の活動を通じて、中小企業の皆様の経営のお役に立てるよう、一気通貫、伴走型のサポートを心掛けていきたいと考えています。

諸先輩方の皆様におかれましては、微力ながら、当協会の活動に取り組んでいく所存でございますので、何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## クリップボード

### 川井努



初めまして、川井努と申します。令和5年2月に中小企業診断士試験に合格し、今年から新潟県中小企業診断士協会に入会させていただきました。

私は新潟大学では化学系を専攻していましたが、全く関連が無い燕市の金属加工の製造業に就職しました。さらにその勤務先でも生産現場、生産管理、購買、経営管理、中国現地法人への駐在などとさまざまな部署を経験させてもらいました。よくいえば製造業全般を広く知っているのですが、逆にどこかの分野に特化せず広く浅くになっているともいえる自身の経歴が弱みになるのではと感じ悶々としていました。そんな中、診断士という資格があることを知り、さまざまな業種や専門家の橋渡し役の診断士が自分に向いているのではと思ったのが診断士を志すきっかけでした。

現在は、生産管理部門に所属しながら生産管理の業務改善および組織改編、現場の生産性改善、在庫削減を行っています。実務の現場では教科書の理論通りはなかなかうまくいかないのですが、やはり基本が「王道」、基本を外してはならないと思えるようになったのは診断士の勉強をした経験が生きていることだと思っています。

趣味についてですが、中国駐在期間で初めてゴルフを始めました。(ですので中国産ゴルファーです)。駐在中の約6年間はゴルフ三昧だったものの日本に帰国するとビックリするほどゴルフ熱も冷め、もともと生涯の趣味と思っていたパ○ンコを再開したのですが、身体的事情(聴力低下)により、今年残念ながらパ○ンコ引退を余儀なくされてしまいました。現在新たに熱中できる趣味を探しています。趣味もなくなり、何でも食欲にチャレンジしようと思っていますので、何卒今後ともよろしく願申し上げます。

### ◆令和7年1月25日(土)

新春講演会・新年会  
新潟グランドホテル

### ◆令和7年2月1日(土)

「中小企業診断士を目指す人の 情報交換サロン」

一般社団法人 新潟県中小企業診断士協会 主催

## 第6回 中小企業診断士を目指す人の 情報交換サロン

当協会ではこれから診断士を目指す方や診断士試験にチャレンジしている方を応援しています！試験勉強のモチベーションを保つコツや診断士の仕事の魅力について、現役診断士と受験生の皆さんと一緒に楽しく考えていきましょう！！

- 💡 診断士の仕事に興味がある！
- 💡 診断士試験の勉強について悩んでいる…
- 💡 仲間がいたら試験勉強も乗り切れる！！
- 💡 いろんな診断士とのネットワークが欲しい！！！！

ゲストによる貴重なお話と和やかムードの座談会で、診断士への理解が深まる！！

2025年2月1日(土)

- ▶ 座談会 16:00~17:45
- ▶ 懇親会 18:00~20:00

会場 スペースコンフォート (新潟市中央区明石1丁目3-11コンフォートビル205)

参加費 無料 (別途懇親会費 5,000円程度)

ゲストスピーカー 中村 泰規 (なかむら やすのり)  
公益財団法人 いがた産業創造機構 チーフ  
2024年7月 中小企業診断士登録

座談会の主な内容

- ① 診断士試験の概要や試験に向けて
- ② ゲストスピーカーによる体験談など (試験勉強や準備について)
- ③ フリーディスカッション (疑問点や不安なことを話し合います！)

【お申込み方法】  
右のQRコードからお申込みをお願いします  
▶ 申込締切 2025年1月29日(水)  
肩肘張らない気軽な会を目指しています。  
まっとう役に立つ情報がありますので、是非ともご参加ください！

### 編集後記

#### 広報委員会 岡田久夫

『SOUP LETTER 第34号』をお手に取っていただきありがとうございます。今回のSOUP LETTERでは、協会活動報告、新入会員紹介をメインで紹介させていただきました。

今年度は広報誌のリニューアルやホームページの更新等も検討しております。より魅力的なコンテンツをお届けできるよう広報委員一同力を合わせて頑張りますので、新たな広報誌、ホームページの誕生に御期待ください。

最後になりますが、『SOUP LETTER 第34号』を制作するにあたり御協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。